

ゆるく やさしく 健 康 管 理

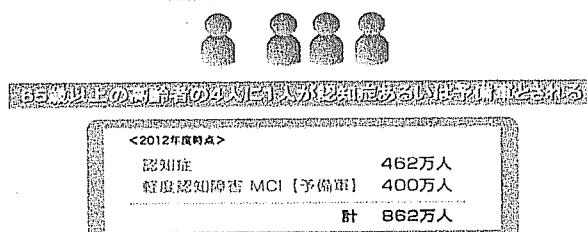
かなど、「高齢運転者と認知症」運転に影響を及ぼす病気などについて多くの人が改めて考えさせられるきっかけになったのではないか。うか。

2010年に発表された厚生労働省のデータによれば、65歳以上の高齢者は4人に1人が認知症あるいは予備軍であることを示されています。急速に高齢化社会を目前にして、地方政府など行政もその対応に奔走しているのが現状です。

の健康チエックで、り忘れることがある。最近の出来事や会話が思い出せないことがある。既に書いたことを忘れる。同じ話や冗談を同じ人にいつてしまったりがある。銀行残高を計算したりする旅行の計画をしたりするなど複雑な作業が困難な。認知症との見分けは、忘れたたちは、覚の有無で、忘れたたまでは、見分けがつかない場合が多い。危なく、物忘れ症の疑いがある。

クしませんか
の大きな違い
はどうかの「面
じす。つまり、
じうで、何回見
ぼちゅうと
おそれの進行が
ます。
は生活習慣病のリスクを
同じです。むわんと睡眠
時無呼吸症候群(いそごく)
のリスクとも重なる
おず。
場合ば、認知
認知機能の維持・改善
に有効として挙げられて
いるものには、バランス

認知症高齢者人口【最新データ】



あなたがお
健康チェック
に行かれた
とき、心配の
感じや、心配の
感じをもつて、
お薦めしまし
た。

の
で、10の單語を見るのである。
仲間はすぐを見つけられる
じで、電話で簡単に受け
る人が多い。
微細な認知機能の変化
を判別できる非常に高精
度のチェックですので、
既に地方自治体や医療機
関でも導入されていま
す。

《SAS検査受託機関》N
P.O法人ヘルスケアネット
トワーク (OCHIIS)
大阪オフィス 電話06
(06000) 33000
東京オフィス 03 (3551) 1111
<http://sas.oshosin-net.jp>

すいぶんご無沙汰をしてしまいました。今回は、直近の大事件に関連して、「あたまの健康」をテーマとしました。

知症の治療は2日前まで
入院していたこと、しか
もてんかんの病歴もあつ
たことが判明していま
す。

増が予想されます。この問題は運輸事業者にとって最重要事項であることを語っています。
そこで、今回は認知症について緊急に取り上げました。

早期発見のためのチェック項目を紹介します。は医療機関へあなたは丈夫でしょう。このとくおなかが。・この数週間で自分の書いた日の詳細が思い出せば、やめにかいたりをやめられないことがあります。

が多かった方
に足を運ばれ
勧めします。
との連、
の年齢になる
が多くなる「ひ
満、アルコール、薬物依
存、喫煙なども影響を及ぼすことが分かっています。しかし、
認知症のリスクは加齢
だけではありません。脳
や心臓の病気、糖尿病、
高血圧、ストレス、肥
防改善

卷之三